

たすく療育・横浜センター南(児童発達支援)における自己評価結果(公表)

令和4年2月調査 ○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0		
	2 職員の配置数は適切であるか	5	0		送迎の充実のために非常勤募集中です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	お子さまの特性に合わせて、環境を整えてから、入室いただくようにしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	毎日全職員でミーティングを実施しています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5		今後法人本部と連携しながら、実施を検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	OJTの場を設けています。また、法人本部と連携して、保護者学習会や職員研修など月一回程度の頻度で実施しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	特別支援教育の専門家が臨床場面をビデオ分析し、お子さまを見る際に必要な視点をまとめた、J☆sKepsという指標に沿ってプログラムを変更しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	1	お子さまの特性に合わせて、集団の場を設けています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0		
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0		
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0		
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	主に児童発達管理責任者と担当者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0		
	23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	4	医療的ケアが必要なお子さま、重症心身障害のあるお子さまの受け入れは過去にありません。	現状では受け入れはありませんが、受け入れが決まった際には医療機関等との連携を密に行っていきます。
	24 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4	医療的ケアが必要なお子さま、重症心身障害のあるお子さまの受け入れは過去にありません。	現状では受け入れはありませんが、受け入れが決まった際には医療機関等との連携を密に行っていきます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	ご家族のご要望をいただければ、情報共有をしています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	サポートブック等の引き継ぎツールをご家族とともに作成しています。また、必要に応じて電話を活用した連携もしています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	家族会活動や共創学習にて兄弟児と関わる機会を持てるようにしています。	現状ではコロナ禍で活動を保障するのが困難な為、十分にできていません。コロナ収束後には、積極的に取り組んでいきます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0		
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	0		
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		丁寧な説明を心がけていますが、複雑なため理解につながっていないと感じることがあります。法人本部とも相談しながら、納得してご利用いただけるように、ご家族に説明いたします。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	家族会活動や保護者学習会を定期的に開催しています。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0		
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		家族会活動を中心に、地域の方が参加しやすいプログラムを検討していきます。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2		マニュアルやガイドラインはあるが、細かな周知まではできておらず、訓練を企画しても参加が少ないのが現状です。法人本部とも連携しながら、マニュアルやガイドラインの周知方法、参加しやすい訓練設定を検討していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		感染症対応はできていますが、災害時対応訓練の頻度を増やしていきます。
	43 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	原則飲食は行ってません。必要なお子さんは保護者と相談しながら対応しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3	事例検討会を開き、記録を共有しています。	事例集としてまとめ、参照しやすいシステムを構築していくことを検討しています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0		